

BRAKE SYSTEM & BODY

気持ちよく走り、安全に止まるための思想——。
人に優しいハイテクノロジーは
クルマ本来の基本能力にも並々ならぬ神経を配っている。

とっさの急ブレーキにもタイヤはロックしない 4輪アンチスキッドブレーキシステム(4WAS)

危険に遭遇した瞬間、
あるいは濡れた路面での、急ブレーキ——
ブレーキ力が強ければ強いほど
タイヤはロックしやすい。前輪がロックすれば
ステアリング操作が不能となり、
後輪がロックすれば尻振り現象となって、
別の危険にみまわれかねない。
これを防ぐためには、
小さみなポンピングブレーキが要求されるが、
パニック状態のなかでは、プロならいざしらず
一般のドライバーにはなかなか難しい。
このポンピングブレーキをドライバーに代って、
適正に、かつ素早く行なってくれる装置が
4輪アンチスキッドブレーキシステム(4WAS)。
電子制御によってブレーキ力が
きめ細かくコントロールされているため、
タイヤロックがおきず、ブレーキング中でも
ステアリング操作に支障がない。
このためドライバーはいかなる路面でも
安心してブレーキが踏め、
危険回避能力がわきわめて高くなる。
ブレーキペダルのキックバックもきわめて小さく
4WAS作動時のペダルフィーリングは
なめらかである。(メーカーオプション)

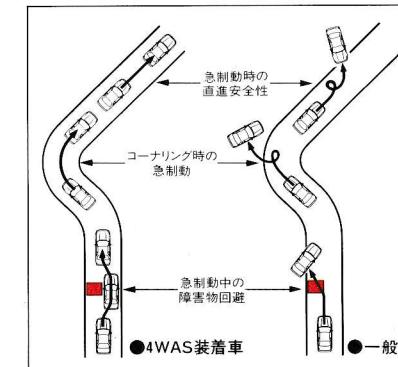
■4WASは電子制御による危険回避システム このシステムは——

- Ⓐ車速センサー(車輪回転数検出装置)を左右前輪とデフアレンシャルにセットし、前輪の各回転数と後輪の平均回転数を検知する。
- Ⓑモジュール(電子式制御装置)がセンサーからの信号によって車輪のスリップ状況を検出、適正なスリップ率の維持をはかるため
- Ⓒアクチュエーター(圧力調整装置)へ、きめ細かく信号を発信。これによって配管内のブレーキ液圧を増減し、車輪がロックするのを防止するシステムである。異常時には
- ①警報ランプが点灯。なお、センサー断線やモジュールの故障などが万一発生した場合には

通常ブレーキに復帰するフェイルセーフ機能と
故障診断機能をそなえている。

■急制動中の主な効果

- ステアリング操作による旋回性能の向上
 - 障害物回避性能の向上
 - 尻振り防止による車両安定性の向上
 - 特に濡れたアスファルト路面での停止距離の短縮などがある。
- 4WAS装着車と一般車の挙動相違
- 4WAS装着車——どのような路面状況でブレーキを踏んでも、タイヤがロックせず、ステアリング操作は可能である。
 - 一般車——濡れた路面、雪道などで急ブレーキを踏んだ場合、タイヤはロックし、ステアリング操作が不能となるケースがある。



●4WASは、緊急時の安全を確保するものであり、危険な運転を助けるためのものではありません。安全運転をお願いします。

心強い制動力が大きな信頼感を培う 全車に4輪ディスクブレーキを装着

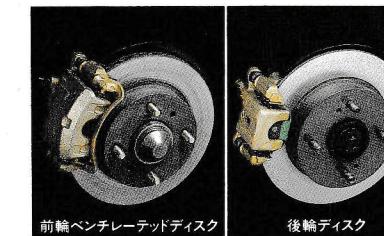
安心して大いなるパワーを楽しみたい。

そのためには

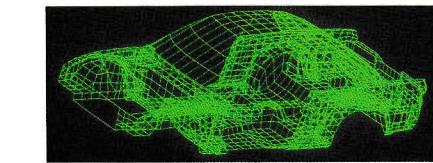
高いポテンシャルを有するエンジンに見合う、高性能で確実なブレーキシステムでなければ強い信頼感はおけない。放熱効果が高く耐フェード性に優れたディスクブレーキを

全車に装着したのはもちろんのこと、前輪には、特に高速での連続した使用にもきわめて高い制動力を維持できる、ベンチレーテッドディスクを採用している。また、小さな踏力で確実な効きがえられる大型9インチのマスター・パックを装着。

とっさの危険にも素早く反応する。



■美しい肢体の内側には強靭なボディ
高剛性モノコックボディの設計には、高度な構造解析技術を導入し、多角的な検討により万一の際に人の受けるG(衝撃加速度)を最小限に抑える構造とした。また、車体の軽量化と剛性強化の両立を計るため、各部の板厚の見直し、高張力鋼板の採用、結合部の効果的な補強を徹底的に実施。しつかり感、安全性を充分に確保するとともに振動や騒音にも強い設計となっている。ボディの軽量化は軽快な走りと好燃費の隠れた факторとなっている。



しなやかなサスペンションが履くのは 高性能ラジアルタイヤ

確かなコーナリング、俊敏なフットワークは優れたサスペンションはもちろんのこと、強力なタイヤの支援があってこそである。シルビアは195/60R15 86Hラジアルタイヤ(K's)と185/70R14 87Sラジアルタイヤ(Q's,J's)を履くことによって、より路面との密着を深め、高い運動性能と快適な乗り心地をバランスよく実現している。

※ハイキャス付車は195/60R15 86H(ポテンザRE71)ラジアルタイヤとセット装着。



(アルミロードホイールはメーカーオプション)

